



そうわ通信 6月号

《学校教育目標》豊かな心を持ち 自ら考え たくましく生きる子の育成
～学び合い 高め合う なかまづくり～

日光修学旅行が実施されました！

松田町立寄小学校の6年生とともに【5月16～17日】

昨年度に続き、今年度も日光修学旅行が実施され、本校の8名の6年生は、日光の歴史と文化に触れ、加えて仲間との思い出づくりを満喫してきました。今回もバス移動とし、寄小学校6年生6名との合同で行いました。修学旅行団としては、他校は13日から始まっていたのですが、相和小を含む第4分団はありがたいことに天候にも恵まれ、晴天の中実施できたことは、日頃から最上級生としてがんばっている6年生に対するプレゼントだったのではないのでしょうか。

すでにホームページでも掲載したとおり、寄小と事前に2回のリモート学習により、すでに顔の見える関係性を築くなどの準備も整え、少ない人数だからこそそのよさもたくさん見られ、和やかな雰囲気がとてもすばらしかったです。

保護者の皆様には、準備の段階から当日まで、数多くのご支援をいただきありがとうございました。



日光に向けて出発！



壮大な華厳の滝の前で



食事也大満足！



たくさん交流できたね



旅館「風和里」の前で集合写真



黄金のウサギ像とともに



東照宮で
記念撮影

南足柄市・足柄上郡のすべての小学校が、無事日光修学旅行を終えました

相和っ子班活動の充実 ～今年もたくさんできますように…～ サツマイモ畝作り【5月19日】& 苗植え【5月24日】

今年も、土地を提供してくださったり、耕してくださったりした地域の方々のご支援のもと、全学年で苗植えを行うことができました。今年環境委員会は、たくさんのサツマイモを収穫できるよう、準備段階からかなり力を入れていました。写真にあるように、丁寧にわかりやすく説明(アウトプット)したことで、正しく苗を植えることができましたようです。相和ハッピー祭午後の部が開催される10月まで、子供たちは、日頃の世話を継続して行います。昨年度は、例年以上の収穫でしたが、果たして今年度はいかに…



PTA指導者研修会で事例発表 【令和5年5月18日】

本校PTAがこれまで行った諸活動の実績が認められ、昨年度優良PTA神奈川県教育委員会表彰を受けたことはすでにお伝えしているところですが、その取組内容を、昨年度と今年度のPTA会長さんが、大井町生涯学習センターにおいて、県西地区の単位PTA役員等約120名に向け、発表しました。

当日は、3団体が事例発表を行うことになっていたため、1団体あたりの発表時間は8分程度という制限の中、発表者のお二人はとても分かりやすく、素晴らしいものでした。

実は、当日まで5回ほどリハーサルを行うという念の入り用で、やるからには本会の取組をしっかりと伝えたいという意気込みが伝わってきました。本当にありがとうございました。

なお、後日、主催した県教委の担当と話をする機会があり、本会のこれまでの、そしてこれからの取組について、もっと具体をお聞きしたいとのことでした。家庭数が少なくなってきた中であっても、みんなで協力することが文化となっている本校PTAを大変誇らしく思います。

横浜市立中学校との交流にチャレンジ 【令和5年5月24日】

相和地区を中心に活動されている一般社団法人「神奈川県大井の里体験観光協会」は、小中学生を対象に田植え体験などを企画されており、本校も教育活動に支障が出ない範囲で、トイレや体育館を部分的開放するなどして協力しています。

本校では、子供たちにアウトプットの経験を積ませたいと考えています。これは絶好の機会ととらえ、協会と相談のうえ、来町した中学生に対して、町のよさや本校の紹介を子供たちにチャレンジさせようということになりました。昨年度の6年生が作成した学校紹介ビデオを活用しつつ、8名は堂々とそして臨機応変に伝えることができました。本当にあっぱれです。



初対面の中学生100人を前に堂々と発表する6年生

「子育てアラカルト② ～『教師の五見』を紐解く～」

職員室のドアには、「教師の五見」という掲示物があります。「子供をかけがえのない命として見る」「子供の目の高さで見る」「親の立場で見る」「授業の外で見る」「自分を見る」の5つの「見る」です。

それぞれには、具体の言葉が添えられており、「親の立場で見る」には『もし我が子だったら』泣いている親はいないか『言えないでいる親はいないか』と記載してあります。もちろんこれらは、「教師の～」となっているので、我々教職員が日頃から保護者に対して配慮すべきことではありますが、改めて考えると、教職員と保護者の関係だけではなく、保護者同士の関係でも当てはまるのかなと思います。

PTA総会時にもお伝えしましたが、保護者間が良好な関係であることが、子供たちにとっても大いにプラスになると思います。過去がすべてよいとは思いませんが、私も小さいころ、友達の親や地域の方に褒められるだけでなく、叱られたり注意されたりした経験があります。叱られること自体はうれしいことではありませんが、それでも自分のことを大事に思ってくれていると感じ、その人を嫌いになることはなかったと記憶しています。

地域コミュニティが希薄になってきているといわれる昨今、大井町は人づくりに力を入れており、予算面でも教育全般や子育て支援の充実が図られています。しかし、お金では買えない「人の温かさ」と「厳しさ」は、大人がいかに意識するかにかかっており、覚悟が求められているのではないのでしょうか。